

西暦	名前	事績など	備考
1072	秦兵曹道武	融通念佛宗の開祖良忍上人の父で藤原姓を称し、富田殿と呼ばれる。愛知県東海市域の富田に住む。	藤原道武は知多臣大領であったとする説もありますが、知多臣は春日氏族であり、その可能性は少ない。
1336 以前	富田源次郎 清次	愛知県稻沢市域の麻績村に所領を有する。	
1370	富田橘三右 衛門尉	愛知県一宮市域の中島郡内に所領を有する知多郡荒尾庄が本貫の荒尾泰隆の給人。	
1388	富田 某	名古屋市中川区域の円覚寺領富田庄に乱入する。	
1403	富田 某	尾張守護斯波氏の給人。給地は中島郡内の国衙領市保。	
1496	富田左近尉	清洲・織田氏と共に美濃の船田合戦に参戦し、土岐元頼と共に自害。	
1496	富田右京亮	同上	
1498	富田左京亮 家次	愛知県大府市域の代官。丸根城主（共栄町6丁目付近）。	大府市の藤井神社の棟札にこの名前あり。
1550 頃	富田右京、 右京亮、信 濃守助知	伊勢・津城主・富田知信（一白）の父。（寛政譜が宇多源氏佐々木庶流の後裔とするのは不審）	
1600	富田藏人高 定	富田知信の次男（または三男）。妻は知多郡内海城主・佐治為繩の娘。前田利長の配下で山口宗永のたてこもる大聖寺城攻めに参加し討死。	
1600 頃	富田五郎右 衛門	富田知信の家臣。	
1735	富田与太夫	東海市域渡内村八幡社の神主。	後裔に大府市の藤井神社の祠官になった者あり。
1752	富田左京亮	知多郡追分新田（大府市共栄町）に住む。	
1793	富田定左衛 門	愛知県知多市域の山廻り役。	
1793	富田六郎左 衛門	同上	知多市誌には1772年に富田六郎左衛門藤原信清が、1885年に富田六郎左衛門藤原信治の名が見え、藤原姓で信を通字としていたようであり、富田知信と同じ家系であろうか。
1828	富田七左衛 門正隆	東海市域の富田城の跡地にある神社・七社の社に手洗鉢を寄進。愛知県知立市域の住人。	